



八王子消化器病院ニュース

第54号

医療法人財団 中山会

八王子消化器病院

消化器病専門医療機関 東京女子医大関連病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒192-0903 東京都八王子市万町 177-3

TEL: 042-626-5111

www.八王子消化器病院.com

制作 (株)教育広報社

おおるり

HACHIOJI DIGESTIVE DISEASE HOSPITAL NEWS



理事長就任のご挨拶

八王子消化器病院 理事長 原田 信比古

本年四月一日、鈴木衛前理事長の後任として理事長に就任いたしました。就任にあたりひとことご挨拶を申し上げます。

八王子消化器病院は皆様に支えられ、この五月で創立三十四年を迎えます。当院は一九八三年（昭和五十八年）五月に「中山記念胃腸科病院」として開設され、東京女子医科大学消化器病センターの創設者であり、当院の初代理事長である中山恒明先生が提唱した“患者様のための医療”を病院の基本理念として地域医療に携わってきました。この理念は今日では多くの医療機関で取り入れられていますが、当時の医学界においては医療の原点に立ち返ることを提唱した極めて斬新な考え方でした。この考えのもと同大学では医療練習制度という医師教育制度を設けて、診断から治療、経過観察までを一貫して診ることのできる医師の育成を目指し、また内科・外科の医師が互いに連携して“患者様のための医療”を行つてきました。この基本理念は故羽生富士夫元理事長、鈴木衛前理事長に引継がれて現在の病院の礎が築かれ、ここに集う医師達は今もその精神を受け継いで日々の診療にあたっています。

振り返りますと、病院設立当初の創成期には林恒男病院長（現顧問）を中心とする医師

達が、医師会や近隣の病院・医院を訪問して、

地域の患者様や医療機関との信頼関係を構築し、病院の基盤を築いてきた時代がありま

した。二〇〇二年に現在の病院に移転し

てからは、羽生元理事長の提唱した「二十一

世紀に生き残れる専門病院」を目指として、

鈴木前理事長の主導のもと、病院内の業務

を逸早くIT化するとともに、医療安全を

はじめとする各種委員会を設け、病院組織

を整備し、また接遇改善などを通して、医

療機関としての成熟を図つてきました。こ

れからの私たちに託された使命は、多くの

先達たちが築いてきたこれらの技術・知識・

組織を基礎として、地域の医療機関と連携

しながら、外部に向かつて私たちの培つて

きた医療を発信し、展開していくことと考

えています。常に最新の知識・技術を導入

して医療の質を向上させるとともに、安全

な医療、そして社会の要求に応えられる医

療を推進していきたいと考えます。

今後は小池伸定医師に病院長の職を引き継ぎ、若い活力ある職員の意見を取り入れな

がら、病院を運営して参ります。また、今

泉俊秀顧問を財団の理事に迎え、膵臓疾患

治療を強化していくための部門を立ち上げ、

充実していく予定です。

超高齢社会を迎える二〇二五年間題など、医療を取り巻く情勢が一層厳しくなりつつある現状はご承知のとおりですが、「何とかしてこの病苦から逃れたい」「何とかして愛する人を救いたい」という患者様やご家族の気持ちはいつの時代にも変わることはあり

ません。「少しでも目の前にある病気の苦悩を軽減したい」、それが医療に携わる者の願いであり、私たちは患者様から寄せられる期待と現実の狭間で日々闘っていますが、すべての期待に応えられない現実があるのも、また事実です。当院の基本理念である“患者様のための医療”とは何かと考えるとき、私は究極的には患者様の“納得”であると考

えています。ひとは納得できる事柄に対

しては相当な試練にも耐えることができます

が、納得できないことについては、些細なことでもこの上ない苦痛を感じます。ひ

とは本当に納得したとき、辛い困難な治療

にも立ち向かうことができ、心の底から「こ

れでいいんだ」と思えたとき、受け入れ難い病状をも受け止められるのではないかと

思います。単に医療者側の知識や方法論で

治療を推し進めていくのではなく、対話によつてお互いの理解を深めながら最もよい

治療を探していく病院でありたいと思いま

す。

当院の原点である東京女子医科大学消化器

病センターの医療を継承していくとともに、今

後も消化器疾患の専門病院として地域医

療の一翼を担い、なお一層信頼される病院

となるよう努めて参りますので、変わらぬ

ご支援、ご協力をお願ひ申しあげます。

❖ 脾臓の仕組み
脾臓は、漢方医学で「五臓六腑（はらわた・内臓）」には含まれていませんが、お腹の重要な臓器です。脾臓（パンクレ

❖ 脾臓の仕組み

脾臓病を早期発見・治療するためには、脾臓の働きや脾臓病の病態、そして検査・治療方法について知つておくことが重要です。そこで本誌では、これから数回に亘り「脾臓病講座」と題して連載してまいります。第1回目は、脾臓の仕組みと働きについて解説いたします。

ります。膵臓病は目立つた特徴的な症状がないことから「沈黙の臓器」と云われています。そのこともあって、特に膵癌では発見が遅れることから「暗黒大陸」と云われ、恐れられる所以です。実際に発見された時には病勢がかなり進んでおり、手の施しようがないことも多く、他の消化器癌の5年生存率が70%程度となる中、膵癌では10%前後と低い状況にあります。

「胃が痛い」ので検査を受けたが『異常なし』、処方された胃薬を服用したが症状が改善しないということはありませんか？近年、我が国においては急性膵炎・慢性膵炎・膵癌などの膵臓病が増加して

はじめに

もっと知りたい!

膵臓の仕組みと働き

八王子消化器病院
顧問
今泉俊秀



1



図
2

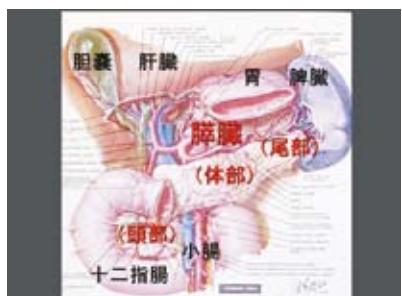
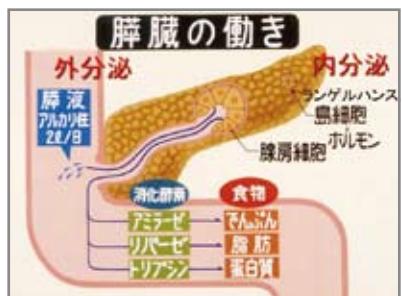


図3



四
4

1つ目は、食物の消化に必要な消化酵素（炭水化物を分解するアミラーゼ、蛋白質を分解するトリプシン、脂肪を分解するリパーゼ等）を含んだ胰液と呼ばれる消化液（2ℓ～3ℓ）を十二指腸に分泌することです。これを「外分泌機能」と云います。胰液にはアルカリ性の重炭酸塩が大量に含まれ、十二指腸内で胃酸を中和して消化を助けます。なお、胰液の分

❖ まとめ

今回は、脾臓の仕組みと働きについて解説いたしました。特に、脾臓の3つの区分である「脾頭部」「脾尾部」「脾体部」は、診察時にも良く耳にする用語です。今後のお話を進めていくうえで大切なことですので、よく覚えておいてください。

❖ 脾臓の働き

臍臍には、主に2つの働きがあります。

素や消化管と
ます。(図4)

内部には臍尾部から臍体部・臍頭部を経て十二指腸へと臍液を流す径2mm～3mmの主臍管が走っています。また、臍頭部には肝臍で作られた胆汁を十二指腸に流す径7mm～8mmの総胆管が通り抜けています。これらの主臍管と総胆管は十二指腸につながる直前で合流し、十二指腸に開口する部分は乳首の先のようになつており「十二指腸乳頭」と云います。（図3）

2つ目は、血糖値を下げるホルモン（インスリン）や血糖値を上げるホルモン（グルカゴン）を産生して血液中に分泌し、血糖を調節することです。これを「内分泌機能」と云います。胰ホルモンは、胰臓内に100万個以上も存在する「ランゲルハンス島」で作られ、1島は5,000個の内分泌細胞（A細胞・グルカゴン、B細胞・インスリン、D細胞・ソマトステ

呼ばれ、これらは臍臓の病気を説明する際によく使われる用語です。更に、臍臓

泌はホルモンや神経系で調節されています。

患者さまが「ドクターへ

54

心癒してくれるもの

八王子市台町 在住

三村 明子さん



「八王子の病院でコンサートがあるので聴きにいらつしやいませんか?」5年前大変お世話になつている方からこんなお誘いを受けました。私達夫婦とも音楽の仕事に携わっていますので、音楽が脳に与える影響や、感情をコントロールすること、また聞くことで脳を直接活性化し気分転換になりストレスが軽減されることは知っています。感情が免疫力に及ぼす影響は大きく、健康を左右することがあります。近年、病気の治癒を精神的な面からサポートする方法のひとつとして音楽療法やアニマルセラピーなどを取り入れる病院やリハビリ施設が日本でも増えてきているそうです。病院に居ながらにして音楽を楽しむことができる、なんて素晴らしい病院があるのかしらと非常に感銘を受けました。こ

れが貴院とのご縁の始まりでした。ご紹介頂いた顧問の久野様、原田院長先生をはじめ、皆様素晴らしい方達でここでは病院での緊張感を感じることが不思議とありません。患者にとって安心できるといふのはどんなに救われるごとに言えます。これは患者の立場を考えた医療を目指し取り組んでいらっしゃる貴院ならではと感じています。

さて、動物と触れ合うことで心が癒され免疫力が上がると期待されているアニマルセラピーですが、斯く言う我が家にもセラピードッグ(?)がおります。トイマンチエスター・テリアの2歳になるひで、赤い鼻のトナカイから名前を貰いルドルフといいます。好奇心旺盛で活発な性格ですが、とても繊細で臆病で家族以外あまり懐きません。犬

が貴院とのご縁の始まりでした。ご紹介頂いた顧問の久野様、原田院長先生をはじめ、皆様素晴らしい方達でここでは病院での緊張感を感じることが不思議とありません。患者にとって安心できるといふのはどんなに救われるごとに言えます。これは患者の立場を考えた医療を目指し取り組んでいらっしゃる貴院ならではと感じています。

昨年の暮れ主人と貴院で血液検査を受けることになり、留守番の苦手なルドルフをお世話になつている動物病院に預けることにしました。検査は1時間もかかり終了し、その足で迎えに行くと、私達の姿を見つけるや否や気でも違つたようだ大興奮! 待合室にいた方達は「お迎えにきてくれて良かつたわね」と2、3泊病院でがんばつたような喜びよう目に細めて下さいました。ほんの2時間預けただけです・・・なんてとても言えない雰囲気で、今にも拍手が起きそうになつてきたので急いで動物病院を後にしました。

こんな事もありました。桜の季節に主人と三人で表参道の裏路地を散歩していた時の事。路地に入れば静かなもので車もほとんど来ないおしゃれな通りで

日が新しい発見と驚きの連続です。犬は豊かな感情を持ち、人間の言葉を理解し、とても知能が高いことにまず驚かれました。何か要求があるとじつと見つめて訴えかけますし、夜には主人の帰りを忠犬ハチ公さんがら玄関でじつと待つています。なるほど感情の動物と言われる犬がセラピードッグとして活躍するのがよくわかります。

そんなマイペース犬ですが、昨年から警察犬の訓練士の先生とトレーニングを始めました。ルドルフは先生のおっしゃることをすぐ理解して訓練をします。しかし優等生なのは先生の前だけ、お帰りになると教わったことをやりません。「先生帰っちゃつたからもうやらないよ」とでも思つてゐるのでしょうか。

我が家も間違いなく癒されています。トナカイのルドルフのように道標になつてくれることを期待しつつ・・・

さて、動物と触れ合うことで心が癒され免疫力が上がると期待されているアニマルセラピーですが、斯く言う我が家にもセラピードッグ(?)がおります。トイマンチエスター・テリアの2歳になるひで、赤い鼻のトナカイから名前を貰いルドルフといいます。好奇心旺盛で活発な性格ですが、とても繊細で臆病で家族以外あまり懐きません。犬



ドクタープロフィール 2017

理事長	原田 信比古 (はらだ のぶひこ) 東京女子医科大学 消化器外科元派遣助教授 昭和60年 宮崎医科大学卒業 専門: ◎消化器外科 ◎肝・胆・脾外科	病院長	小池 伸定 (こいけ のぶさだ) 東京女子医科大学 消化器外科元助教 平成6年 徳島大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科 ◎肝・胆・脾外科
顧問	林 恒男 (はやし つねお) 東京女子医科大学 消化器外科元講師 昭和44年 千葉大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科 ◎食道外科 分野: ◎消化器内視鏡検査・治療	顧問	今泉 俊秀 (いまいすみ としひで) 東海大学 消化器外科学元教授/東海大学医学部付属東京病院客員教授/聖マリアンナ医科大学 客員教授 昭和45年 札幌医科大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科 ◎肝・胆・脾外科
外科医長	梶 理史 (かじ さとし) 東京女子医科大学 消化器外科元助手 平成8年 福井医科大学卒業 専門: ◎消化器外科 ◎肝・胆・脾外科 分野: ◎緩和ケア	外科医長	齋田 真 (さいだ しん) 東京女子医科大学 消化器外科助教 平成11年 札幌医科大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科 ◎腹腔鏡外科 分野: ◎がん化学療法
内科医長	森下 慶一 (もりした けいいち) 東京女子医科大学 消化器内科助教 平成12年 帝京大学医学部卒業 専門: ◎消化器内科 分野: ◎消化器内視鏡的診断処置	医師	福光 寛 (ふくみつ ひろし) 東海大学 消化器外科助教 平成11年 東海大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科 ◎肝・胆・脾外科
医師	尾崎 雄飛 (おざき ゆうひ) 東北大学医学部 第二外科元医員 平成15年 埼玉医科大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科	医師	齋藤 元伸 (さいとう もとのぶ) 東京女子医科大学 第二外科助教 平成18年 北里大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科
医師	山本 智子 (やまもと ともこ) 東京女子医科大学 消化器内科助教 平成19年 東京女子医科大学医学部卒業 専門: ◎消化器内科	医師	原 敏文 (はら としふみ) 東京女子医科大学 消化器内科医員 平成21年 埼玉医科大学医学部卒業 専門: ◎消化器内科
医師	松永 雄太郎 (まつなが ゆうたろう) 東京女子医科大学 消化器外科助教 平成21年 和歌山県立医科大学医学部卒業 専門: ◎消化器外科		●糖尿病外来●
	●化学療法外来● 医師: 川上 和之 東京女子医科大学 化学療法・緩和ケア科准教授 昭和62年 金沢大学医学部卒業	●生活習慣病外来● (リウマチ・痛風・膠原病) 医師: 高木 香恵 東京女子医科大学 膠原病リウマチ痛風センター講師 平成4年 東京女子医科大学医学部卒業	医師: 小田桐 玲子 東京女子医科大学 糖尿病センター 元講師/小田桐医院 院長 昭和39年 東京女子医科大学 医学部卒業
			医師: 雨宮 穎子 東京女子医科大学 糖尿病センター 元講師 昭和44年 東京女子医科大学医学部 卒業/同48年 同大学院卒業
		医師: 松下 隆哉 東京医科大学八王子医療センター 糖尿病・内分泌・代謝内科講師 平成6年 徳島大学医学部卒業	医師: 鍵和田 直子 東海大学 腎内分泌代謝内科助教 平成8年 東海大学医学部卒業

想うこと

菜の花や 病窓ごとの 想ひあり



病院脇を流れる山田川沿いの土手一面に今年も、また菜の花が咲きました。来院される方々のために些かなりともお役に立てばとの願いを込めて、近隣のご婦人が丹精を込めて育てられたもの

です。菜の花の他にも四季の花達が目を喜ばせてくれていますが、これまでにするには大変な労力と苦労があろうかと思います。折々の花に託されたご婦人の想いが、安らぎや元気のもととなって患者様に届くように願っております。

理事 久野久夫